

## 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書


- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島市立佐原小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童26名 1年生4名 2年生3名 3年生5名 4年生8名 5年生2名 6年生4名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間) ② 行事名(学習発表会「佐原っ子フェスティバル」) ③ その他( ) (2) 地域における活動 ① イベント名( ) ② その他( )
4 目標 (ねらい)	○ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けてその意義や価値などへの理解・関心を高め、地域全体のオリンピック・パラリンピックに向けて機運醸成を図る。 ○ 多様な文化を受け入れ、人々が互いに人権を尊重し合い、共に力を合わせて生活する「共生社会」についての理解を深めるとともにその実現を目指そうとする心情を育む。
5 取組内容	(1) オリンピック・パラリンピックの文化について調べよう。 ・ 総合的な学習を中心にパラリンピックの各競技や文化を調べることを通して、日本や外国の文化への興味や関心を高めた。 (2) あすチャレ! スクール ・ 車いす陸上のパラリンピアン永尾嘉章氏を講師として招聘し、車いす陸上の体験をしたり、講話をいただいたりした。挑戦する心、あきらめない心について訴える永尾氏の講話は、児童の心に強いメッセージとして伝わった。



	<p>(3) 学習発表会「佐原っ子フェスティバル」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パラリンピックの学習をとおして学んだこと、分かったことを、学習発表会で保護者や地域の方に伝える活動を行った。</li> </ul> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パラスポーツの中でも、これまで接したことのない車いす陸上競技の選手の話聞くことで、パラリンピックや障がいをもつ人々のスポーツや人生への熱い思い・願いに接するよい機会となった。</li> <li>○ 総合的な学習の時間に学んだ内容を発表する機会を学習発表会の中に設けることで、自分たちが知るだけでなく、学んだことを地域の方々や保護者にお伝えすることができた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間での学習と関連させながらオリンピック・パラリンピック教育を推進することができた。</li> <li>○ パラリンピアンを講師としてお招きすることで子どもたちにオリンピック・パラリンピックがより身近なものとなるよう工夫した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業を進めていく上で、予算の関係上1学期(4月から6月)に実施するのが困難な状況なので、主に7月以降の活動として計画、実行していく必要がある。</li> <li>○ コロナ禍の影響により、できる活動の幅が狭まった。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来年度もオリンピック・パラリンピック教育の時間を総合的な学習の時間に位置づけ、本事業を継続して実施する予定である。ソフトボール競技が開催されるあづま球場に最も近い小学校として、オリンピック・パラリンピック教育を通じて地域とともにオリンピック・パラリンピックを精一杯、盛り上げていきたい。</li> </ul>